

計画運休時の出退勤ガイドラインの概要

◆ ガイドライン作成の目的

- 公共交通機関の計画運休時における駅等での混乱を防止し、社員の安全を確保するためには、テレワークの活用等による出勤抑制や早期帰宅など、計画運休時の対処を予め定めておくことが重要
- 本ガイドラインは、計画運休時のタイムラインや平時からの備えなど、各企業の皆様がBCPやマニュアルを作成する際に盛り込むべき内容について解説し、その作成を支援するもの



駅での混乱イメージ

◆ ガイドラインの概要

基本的な考え方

- 各企業が自社の事情に応じて、予め計画運休時の対処を主体的に検討し、日頃から準備
- テレワークの活用など、スムーズビズの実施を平時から推進
- 出勤抑制を広く実施するためには、企業間の相互理解・協力が重要

平時の取組

- 計画運休に備えた労働条件の整備や、テレワークの導入等の都や国の支援を紹介
- BCPの策定方法や、策定に向けた都の支援を紹介
- 連絡体制の整備、取引先との事前調整など、平時から備えておくべき事項を解説



計画運休時の出退勤ガイドライン



テレワークの推奨

計画運休時の取組

タイムラインを提示し、計画運休が実施される場合のフェーズごとにとるべき対応をとりまとめ

計画運休時のタイムライン

計画運休の概ね
48時間前
計画運休の
可能性発表

計画運休の概ね
24時間前
計画運休の
決定発表

計画運休の実施

台風
最接近!
運転再開見込み発表
運転再開

- 気象情報や計画運休の情報収集
- 社内会議の開催、取引先等との調整（事業者間での相互協力）
- 業務の一時中止等の判断、テレワーク活用の推奨
- 運休開始時・運転再開時の勤務体制決定
- 出勤抑制・早期帰宅の実施、出勤者への対応
- 運転再開に関する情報収集、運転再開から時間を空けた出勤の推奨

モデル事例
も紹介!



大規模風水害時における計画運休時の取組が、新型コロナウイルス感染症をはじめ様々な危機への対応の観点からも有効